

教科の目標

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 2 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 3 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点・方法

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 2 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 3 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

- ・授業へ取り組む姿勢や授業を深め広げる発言など意欲的な姿勢。
- ・作文や感想文など。
- ・提出物、小テスト、暗唱など。
- ・定期テストなどで総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・話し合い活動を積極的に行う。
- ・教え合い活動を積極的に行う。
- ・スピーチや発表を積極的に行う。
- ・古典の暗唱を行う。

	学習すること	学習のねらい
一学期	<p>1 「深まる学びへ」 ○表現の豊かさを味わい、生き方を考える。</p> <p>2 「視野を広げて」 ○問題意識をもち、社会に視野を広げる。</p> <p>3 「言葉とともに」 ○表現を楽しみ、言葉の世界の奥深さを知る。 書写（硬筆）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の表現の特徴に注意し、感想をもちながら読む。 ・登場人物の生き方や考え方を捉え、作品の読みを深める。 ・漢文の理解を深める。 ・漢字・熟語の知識と理解を深める。 ・文章の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。 ・相手を説得できるように、話の構成を工夫する。 ・俳句の特徴を理解し、読み深める。 ・和語・漢語・外来語の特徴を理解する。 ・読書に親しむ。
二学期	<p>4 「状況の中で」 ○多様な状況の中で生きる人の姿に思いをはせ、考えを深める。</p> <p>5 「自らの考えを」 ○多様性の中で自分の考えを確立する。</p> <p>6 「いにしへの心を受け継ぐ」 ○作品の背景を想像して読み、古典の心を今に生かす。</p> <p>7 「価値を生み出す」 ○人との関わりの中で、新しい価値を創造する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詩について、現代社会の状況を踏まえて考えを深める。 ・時代や社会の変化の中で生きる人間の姿について考える。 ・人柄や心情を読み取る。 ・論理に着目して推敲する。 ・慣用句・ことわざ・故事成語の知識を深める。 ・文章の信頼性を確かめ、社会の在り方について自分の意見をもつ。 ・言葉のリズムを味わいながら朗読する。 ・和歌や古文に表れた昔の人の心情や情景を読み取る。 ・歴史的背景を考えながら古典を読み、作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・表現の工夫について、自分の意見をもつ。 ・筆者の考えを捉え、自分の意見をもつ。 ・情報を読み取って文章を書く。 ・行書の書き方を学ぶ。
三学期	<p>8 「未来へ向かって」 ○これまでを振り返り、これからを見つめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会における人と人との関係について、考えを深める。 ・詩に表現された思いを捉え、自分の可能性について考えをもつ。 ・これまでの学習についてまとめをする。